

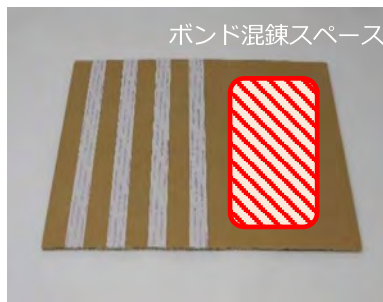
バルコニー 単線ネット取付 標準施工手順

網目15mm・20mm・25mm・50mm 共通

準備する材料



- ①防鳥ネット
 - ②ボンドねり板(両面テープ付)
 - ③2液型エポキシボンド(ヘラ付)
 - ④ネット固定具とインシュロック
 - ⑤速硬化1液型ボンド(SU200)
- 接着強化剤(プライマー) ※必要に応じて



※ボンドねり板はあらかじめ両面テープを貼り付けておきます

2液型エポキシボンド内容物

準備する道具



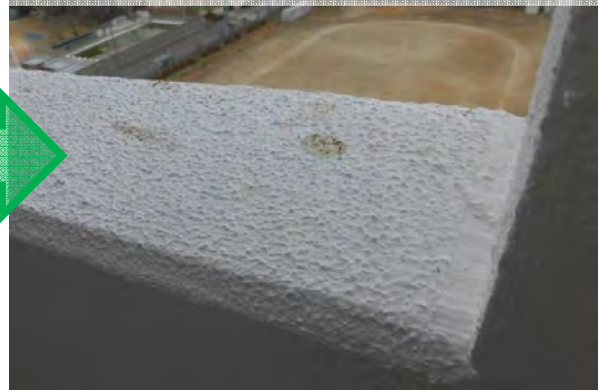
- ①脚立(4尺以上推奨)
- ②スケール(メジャー)
- ③はさみ
- ④油性マジック
- ⑤コーキングガン

施工前のチェック

固定具設置箇所の汚れ(フンなど)



施工前に撤去しておきます

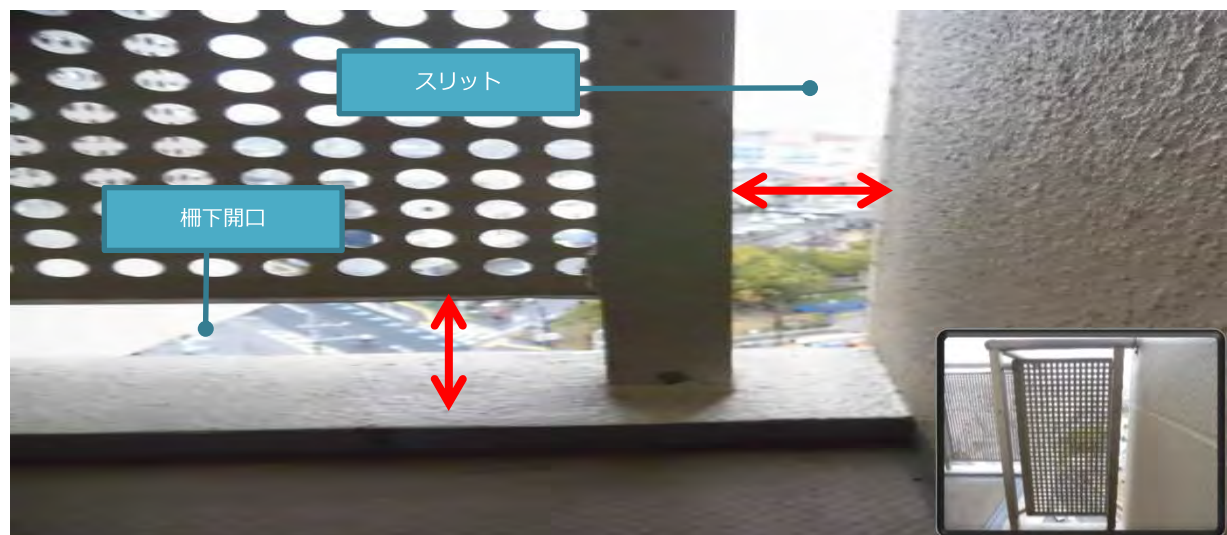


固定具設置箇所の水気や油分(雨など)



施工前に拭取り、乾燥させます

(※雨天時は施工できません)



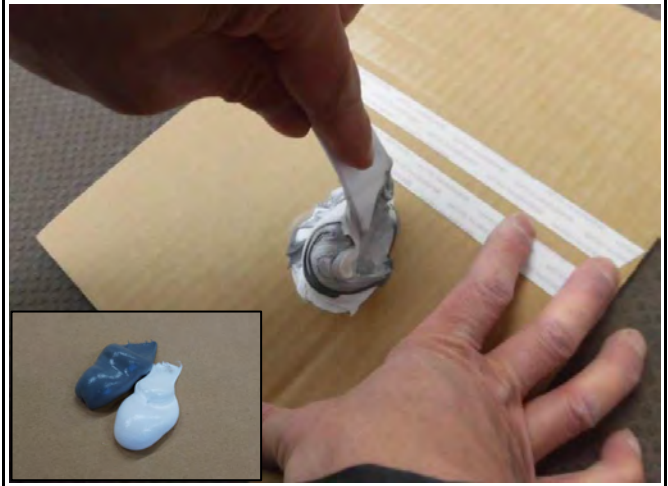
スリットや柵下開口などの有無を確認する(開口部が5cm以上ある場合は必ずネットを設置)

施工の流れ



① 固定具の接着位置をマーキング

固定具の接着位置をマーキングします。
(接着取付間隔は **30cm** 推奨)



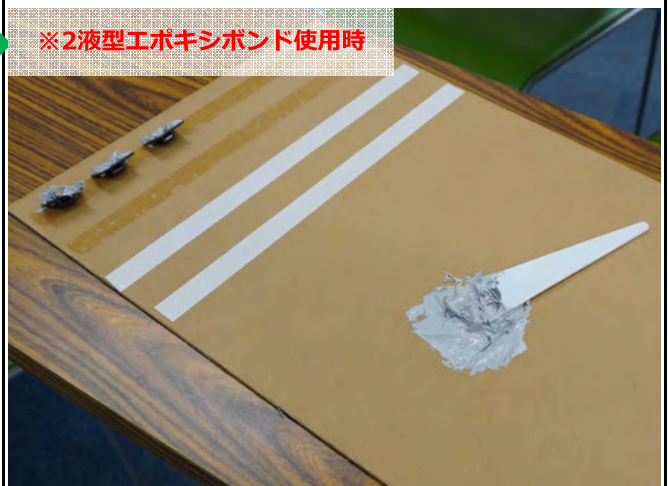
② 接着剤を用意

2液型エポキシボンドを主材、硬化剤を1対1の割合で充分に混練します。(全体的にねずみ色になるまで)



③-1 固定具へ接着剤を塗布(2液型エポキシボンド)

混練した接着剤を固定具裏面へ塗布します。
固定具の丸穴部分へ塗布してください。
ボンドを一度に練る量は、固定具 **5コ程度** がおすすめです。
慣れてきたら少しずつ練る量を増やしてください。



④ 固定具を台紙へ

ねり板の両面テープをはがし、接着剤を塗布した固定具を台紙へ置いていきます。
テープの上へ置くだけで固定具が滑り落ちることなく運びやすくなります。



③-2 固定具へ接着剤を塗布(速硬化1液ボンド)

速硬化1液ボンドを使用する場合は、ボンド塗布後速やかに設置箇所へ取付けます。



③-2 固定具へ接着剤を塗布(速硬化1液ボンド)

塗布量は上図写真を参考にしてください。
エポキシボンド同様、両サイドの穴からボンドがしっかり出るくらいを目安に塗布します。



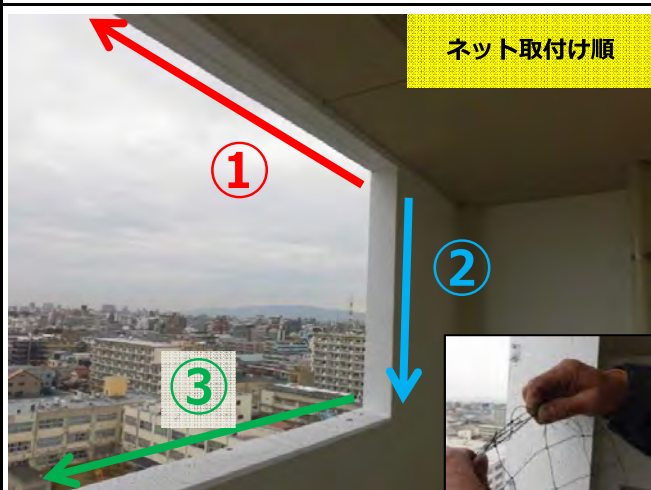
⑤固定具を接着取付
 接着位置に埃,水分,油分が無いかよく確認し、接着剤を塗布した固定具を圧着し取付ます。(必要に応じ、プライマーを事前に塗布)
 (※塗装工事直後の場合はプライマーを使用しないでください)



⑥固定具を接着取付 (コーナー部)
 コーナー部は固定具を近い位置に2個取り付けて下さい。
 ※あまり近くに取付けると、キャップの取付けができなくなる恐れがあります。ご注意ください。



⑦接着剤の塗布量および硬化状況を確認する
 丸穴部分から接着剤が出ていることを確認してください。設置後、接着剤が十分に硬化しているか確認してください。
 【完全硬化目安】夏場：約5～10分 冬場：約10～20分



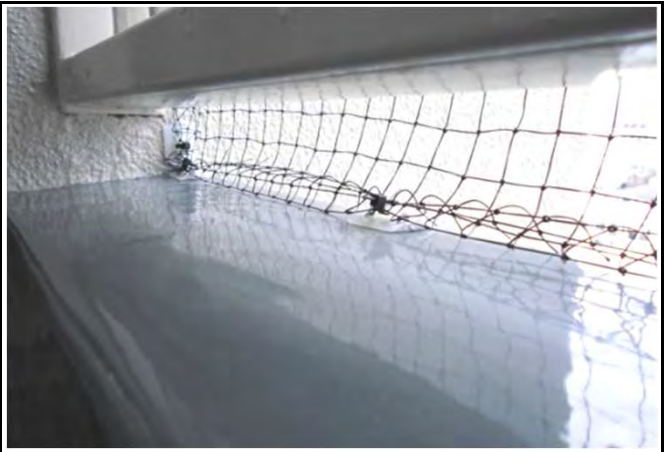
⑧上辺より単線ネットを結束する
 四周固定具を設置後、上辺から単線ネット網目は2マスを束ねて固定します。
 取付け順は、上辺→両辺→下辺の順に取付けてください。



⑨単線ネットを寸法に合わせカットする
 躯体の形状に合わせ、不要な単線ネットを切除し、ネット固定具へ結束します。
 格子手摺の場合は、手摺の外側および足元まで単線ネットを取り付けてください。
 手摺スリット部にも単線ネットを取り付けます。



⑩右(左)辺の単線ネットを結束する
 上辺と同様に右辺のネットを結束します。
 角の部分はインシュロックの併用でより固定が強固になります。



① 隔て板部分に単線ネットを取り付ける
 これまでと同様に、隔て板周囲の開口(5 cm以上)へも単線ネットを取付けます。

② 施工漏れなどチェックする
 キャップの付け忘れや、5 cm以上の開口への施工漏れがないか再度確認し完了します。

施工完了



ポイント!
 ネットは2~3本(1~2マス分)まとめて結束することで、全体的なたるみを押えて、強度を出す事ができます。



※オプション
 ネットキャップを装着した上からインシュロックで縛ると、より強固に結束できます。

